

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 平成23年11月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 平成23年12月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、平成23年11月のアクセス件数、アクセス順位及び平成23年12月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については総務局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (平成23年11月)

平成23年11月の総アクセス数は、186,711件でした。主な内訳は、感染症72.8%、食品衛生10.5%、保健情報5.5%、検査情報月報2.8%、生活環境衛生1.5%、薬事0.9%でした。

(2) アクセス順位 (平成23年11月)

11月のアクセス順位(表1)は、第1位が「マイコプラズマ肺炎について」、第2位が「インフルエンザワクチンについて」、第3位が「衛生研究所トップページ」でした。

マイコプラズマ肺炎は、今年は初夏から学童を中心に大流行しています。国立感染症情報センターの報告によると、マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、第25週(6月20日～26日)以降、1999年の調査開始以降の同時期と比較して最も多い報告が続いており、特に第40週(10月3日～9日)以降は1.00を超えた状態が継続しています。

一般の方々がマイコプラズマ肺炎について理解を深めていただく目的で、厚生労働省は、Q&Aをホームページに掲載しました。

マイコプラズマ肺炎に関するQ&A 平成23年12月

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou30/index.html>

インフルエンザワクチンについては、「2011年度のインフルエンザワクチンについて」の記事の掲載と同時期の11月中旬に更新しました。今冬のインフルエンザの流行への関心から、アクセス件数が増加したものとされます。国立感染症情報センターの報告によると、インフルエンザの定点当たり報告数は、第49週(12月5日～11日)に1.11(前週は0.57)となり、流行開始の目安である1.00を上回りました。これを受け、厚生労働省は、12月16日、インフルエンザが流行シーズン入りしたことを発表しました。

表1 平成23年11月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	マイコプラズマ肺炎について	26,861
2	インフルエンザワクチンについて	5,742
3	衛生研究所トップページ	4,590
4	ポリオ(小児麻痺・急性灰白髄炎)について	4,320
5	ロタウイルスによる感染性胃腸炎	3,119
6	RSウイルスによる気道感染症およびパルピズマブ(シナジス)について	2,769
7	感染症発生状況	2,685
8	水痘(水疱瘡)・帯状疱疹について	2,486
9	サイトメガロウイルス感染症について	2,437
10	感染症情報センター	2,436

データ提供:総務局IT活用推進課

インフルエンザ以外の冬に流行する感染症(「ロタウイルス」(第5位)、「RSウイルス」(第6位)、「水痘」(第8位))に関しても、アクセス件数の上位にランクインしました。

(3) 電子メールによる問い合わせ (平成23年12月)

平成23年12月の問い合わせは、ありませんでした。

2 追加・更新記事 (平成23年12月)

平成23年12月に追加・更新した主な記事は、6件でした(表3)。

表3 平成23年12月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
12月 6日	手足口病について	更新
12月12日	感染症に気をつけよう(12月号)	追加
12月16日	横浜市人口動態統計資料(平成22年)	追加
12月16日	クロストリジウム-ディフィシル感染症について	更新
12月22日	臨時情報 感染性胃腸炎が流行しています	追加
12月28日	E型肝炎について	更新

【 感染症・疫学情報課 】